

2015年7月3日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

KNOWLEDGE
CAPITAL

グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」

世界最高峰のメディアアートの祭典

**「ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2015 『POST CITY』」に参加・出展
～オーストリア・リンツ市に「ナレッジキャピタル」が出現！～**

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社KMO(代表取締役社長:間瀬 豊)は、オーストリア・リンツのクリエイティブ・文化機関「アルスエレクトロニカ」が開催する世界最高峰のメディアアートの祭典「ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2015」に参加いたしますのでお知らせします。

ナレッジキャピタルは、「アルスエレクトロニカ」と開業前から交流を持ち、関係性を深めて参りました。開業年である2013年にはアルスエレクトロニカがセレクトした海外アーティストによるワークショップを全10回開催し、昨年11月からはコラボレーション企画として「ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL」をシリーズで展示しており、現在第3弾となる「Simplicity the art of complexity 複雑な世界の物語展」を開催しています。

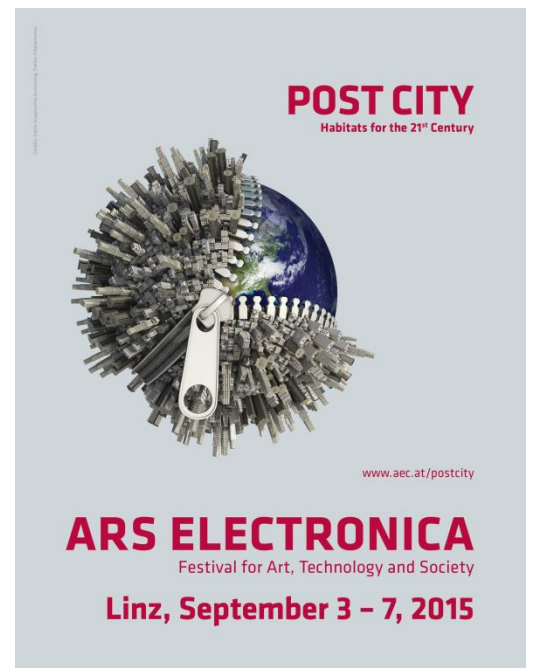
また、「アルスエレクトロニカ」のアーティストックディレクターであるゲルフリート・ストックアー氏とは、常に意見交換を行い、ナレッジキャピタルが開催するプログラムやイベントへも定期的に参加していただくなど交流を深めた結果、今回の「ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2015」の参加が実現しました。

「ARS ELECTRONICA FESTIVAL」は、毎年9月に開催されるメディアアートの世界的な祭典で、1979年の初開催から今年で34回目を迎えます。第1回の開催時には20名程度だった参加者が、昨年のフェスティバルでは579名もの科学者やアーティストが参加し、来場者は世界各地から85,000名を数えるなど大きく成長してきました。

今年開催の「ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2015」のテーマは「Post City - Habitats for the 21st Century (ポスト・シティ 21世紀に私たちが生きる場所)」。リンツ市の中心地であるリンツ中央駅周辺「オーストリア郵便局 中央集荷場跡地」をメイン会場とし、リンツ市内の各所を活用して「これから街の姿はどのように変容していくのか」を、アーティストや科学者、起業家、来場者と共に考えます。

本フェスティバルには、ナレッジキャピタルのコーディネートにより、「The Lab. みんなで世界一研究所」、「ナレッジオフィス」、「ナレッジサロン」で活動する計10者が共に参加し、展示やワークショップなどナレッジキャピタルのイノベーション創出に向けた活動をメイン会場内の「ナレッジキャピタルスペース」で展開します。また、ナレッジキャピタル内のヒトと情報をつなぐ専任スタッフ「コミュニケーター」も参加し、現地で活動します。

以上



ARS ELECTRONICA OK ORF 00 LINZ voestalpine

本件に関するお問い合わせ先 一般社団法人ナレッジキャピタル(担当:稗方・奥村)

電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970/URL:http://kc-ijp/

アルスエレクトロニカ(ARS ELECTRONICA)とは



Photo: Nicolas Ferrando,
Lois Lammerhuber

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディアアートの世界最高峰の機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、美術館・科学館としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、日本からも多くのアーティストが参加している。

■ ARS ELECTRONICA FESTIVAL 2015 「Post City – Habitats for the 21st Century」

会期：2015年9月3日(木)～7日(月) ※現地時間

会場：PostCity オーストリア リンツ市 オーストリア郵便局 中央集荷場跡地(リンツ中央駅周辺) 他



■ 出展予定企業(50音順)

- ・iPresence合同会社
- ・大阪工業大学
- ・関西大学
- ・XOOMS × U-SOFTFACTORY
- ・株式会社竹中工務店
- ・筑波大学 デジタルネイチャー研究室
- ・株式会社電通国際情報サービスオープンイノベーションラボ(Open Innovation Lab. by ISID)
- ・東京大学大学院 情報理工学系研究科 廣瀬・谷川研究室
- ・VisLab OSAKA
- ・マッスル株式会社

※展示内容の詳細は後日発表いたします。

■ ご参考 「ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL」

vol.01 『CODE:「私たちの時代の言語」展』

2014年11月6日～2015年1月25日

【参加アーティスト】

ゴラン・レヴィン氏(カーネギーメロン大学准教授)/エキソニモ(アートユニット)



vol.02 『HYBRID Living in Paradox アート×生命科学の探求展』

2015年1月29日～2015年4月19日

【参加アーティスト】

オロン・カツ氏(西オーストラリア大学 シンビオティカ所長)/BCL(アーティストグループ)



vol.03 『Simplicity the art of complexity 複雑な世界の物語展』

2015年5月21日～2015年7月26日(現在公開中)

【参加アーティスト】

カルロ・ラッティ氏(マサチューセッツ工科大学 センサブルシティ・ラボ ディレクター)/plaplap(アートユニット)

